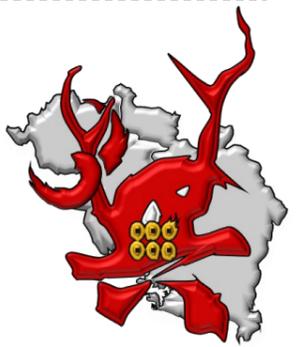




連隊の切り込み隊長 敵を蹴散らし進撃!

月刊 さぶろく魂

発行所
第36普通科連隊総務室
〒664-0012
兵庫県伊丹市緑ヶ丘
7-1-1-2
電話 (072) 782-0001
内線 (4103)



1面 第5次基礎となる部隊の訓練検閲、災害対処訓練
2面 連隊射撃競技会、隊付学生紹介行事(連隊朝礼)

連隊は、コロナ対策を講じた上で、第5次基礎となる部隊の訓練検閲を実施した。(受閲部隊は第5中隊)

第5中隊訓練検閲



本訓練検閲は、陣地攻撃における普通科中隊の行動を検閲課題とし、第5中隊の日頃の教育訓練の成果を評価判定するとともに、その練度向上を促すことを目的に実施された。

第5中隊は、1月20日隊容検査を実施。翌21日に、今年度連隊が統制する訓練課題(小銃射撃、迫撃砲射撃準備、第一線救護、目測等)を実施して、各種戦

闘戦技の練度確認を行った。22日は中隊長計画で、任務遂行のための最終的な準備、ミッションリハーサル等を実施した。夜間は、車両行進に移行し隊形と速度を維持しつつ、整齊と行進を終え、23日早朝に集結地を占領した。午後には敵警戒部隊を駆逐すべく攻撃を開始。前進経路上を軽装甲機動車で迅速かつ機敏に行動、警戒する敵部隊に対し、車上からの機関銃射撃等で駆逐した。その後、敵との接触を維持し、翌24日に連隊主力超越支援、連隊予備隊としての態勢を確立したところで状況終了となった。のべ5日間における訓練検閲において、各人が任務完了のため努力し、中隊長菊池3佐の要望事項「徹底」「指揮の継承」の気概を強く持ち、重大な事故もなく、無事に訓練検閲を終えた。



第5中隊長菊池3佐の編成完結報告



ガンナーによる車上からの機関銃連射!!

巨大地震を想定し訓練 災害対処能力を向上! 大阪・兵庫を護れ

非常呼集に始まり、救助器材の操作訓練...様々な被害をシミュレーション

連隊は、2月12日災害対処訓練を実施した。この訓練の目的は、巨大地震が発災したという想定の下、部隊の災害対処能力を向上させるためのものである。

早朝の非常呼集から開始され、想定される様々な被害状況をシミュレーション、用途に応じた各種器材を迅速に操作し、救助ができるよう繰り返し反復演練を実施した。



ロープ訓練



応急救護訓練



ボート漕舟訓練



人命救助セット操作訓練



非常呼集(緊急登庁)



歓喜

“お家芸”の射撃で勝負強さを発揮！ 小銃、機関銃の両部門で第1位に

射撃競技会

第1中隊が

小銃の部
機関銃の部

優勝



中隊長の池田1尉(赤矢印)を中心に、教官の中村2曹(白矢印)が「One Team」を合言葉に鼓舞。見事団結し、優勝した第1中隊



小銃基本射撃

連隊は、2月8日(10日)の間、久代射撃場において「連隊射撃競技会」を実施した。開会式で連隊長伊藤1佐は「古来、武士の魂は刀にあった。現代の自衛官の魂は銃にある。武士が剣術の腕を磨いたように、自衛官も射撃術に心血を注ぎ、我が国の平和と独立を守ることに責務」と訓示。今年度最後の競技会が幕を開けた。競技内容は、小銃射撃の部(中隊代表30名)による基本射撃・部

連隊長
銃は自衛官の魂
射撃に心血を!



部位指定射撃

3日間の射撃の結果、両部門とも第1中隊が優勝。教官の中村2曹は「ワンチームを掲げ錬磨してきた。選手には自信と誇りを持つようにゲキ。元々練度の高い中隊。日頃の非実射訓練も本番さながらの環境を作為し

1中隊
One Team
スローガンは

位指定射撃の平均点)及び機関銃射撃の部(中隊代表6名)による平均点)に分かれて実施された。



機関銃射撃



加藤幹部候補生



江崎幹部候補生

連隊朝礼で 絆な紹介行事

隊付学生 着隊 歓迎! 少ラン小隊長

ながら訓練した」と語る。さらに「競技会は点検射がない。その状況でも初弾から命中させる練成と研究の試行錯誤を重ねてきた」と常に競技会本番を念頭に置いていたことを明かした。来年度は迫られる立場になるが「射撃優秀中隊の座を死守し、目指すは総合優勝!」と語気を強める。射撃教官は早くも連覇を見据えている。

連隊は、2月3日連隊朝礼において、普通科隊付学生2名の紹介行事を実施した。江崎幹部候補生(第4中隊)及び加藤幹部候補生(第5中隊)は、それぞれ中隊の保有する車両で颯爽と登場、壇上で決意表明を実施した。両名はそれぞれの中隊で数週間の教育を受けた後、幹部に任官する。



結果

- 小銃射撃の部
 - 第1位 第1中隊
 - 第2位 第2中隊
 - 第3位 第4中隊
 - 第4位 第3中隊
- 機関銃射撃の部
 - 第1位 第1中隊
 - 第2位 第4中隊
 - 第3位 第2中隊
 - 第4位 第3中隊